



# 君津商工会議所 FAX通信

会員の皆様へ…会頭からのメッセージ  
平成27年8月25日(火)

Vol. 310

## 今 日本国際収支は？

秋元 秀夫

日本の経済収支は東日本大震災以降、貿易収支等は大きな赤字が続いており、日本の経済の立ち直りが大変心配されておりました所、先日2015年上半期の国際収支…経常収支は東日本大震災前によく回復したと報道されました。

①経常収支には、輸出額から輸入額を差し引いたものが貿易収支であります。東日本大震災によって原発が止まり、代替エネルギーの輸入は1日100億円と言われ、更にガス、石油の高騰が拍車をかけて貿易収支は6兆円前後の赤字が続いておりました。今期は石油、天然ガスの下落もあって貿易赤字は4000億円程度と報道され大幅に縮小されました。(参考までに日本の食糧の輸入は凡そ6兆円強であり毎年増大しております。)

②貿易収支とは別に国際収支には輸送、旅行、サービスに伴う収支があります。大震災後日本は海外旅行が縮小しておりますが、外来旅行者は中国等から1千万人を超える訪日旅行者が増加致して居りますので、旅行収支は5273億円の黒字となり、サービス収支全体では8723億円の赤字ではありますが、昨年同期より凡そ6200億円縮小をしております。

③日本は海外に沢山の出資や子会社があり、多くの特許権も持って居ります。これから得られる所得収支(利子、配当、特許料等)は今期は凡そ10.5兆円入って参りました。

④経常収支は、貿易収支、サービス収支、所得収支を合わせますと、今上半期は凡そ8兆2000億円の黒字となります。財務省は今年6月末国債と借入金合計は過去最大1057兆円2235億円となったと発表しました。2015年度末までにあと10兆円位は多くなる可能性は大であります。

こうした巨額の財政赤字を抱える日本はこの経常黒字を維持する事が経済界の責務であり、国際的な信頼を保つ役目があります。これはグローバルな国際競争…国際収支を支えるのは貿易、大企業であります。絶対必要な事は国内産業、ローカルな地域産業を健全でフェアな競争ができる様に育成する事が国際競争に勝つ絶対の条件だと思っています。

「拝啓 石破地方創生大臣様」の返事は帰って来ませんでした。大臣として今は返事を書けない…洩れ受賜っております。なぜ？であります。

地方創生…プレミアム商品券…期限いっぱい暮れまでゆっくりとお使い下さるよう勧めして下さい。一挙に使ったら後日反動が起こる事は確実であります。キリスト大学の八代教授が批判しているように「プレミアム商品券は国による地方商店街の保護政策だ！非効率な産業を保護するのは経済学では資源配分のゆがみだ」と言っておられます。こうした声を見返し、次の政策に励みをつけるためにも是非会員の方は座して待たず、店の表へ出て足を運び、声をかけられ地方創生のこの政策を成功させて下さい。

<追伸>

創立20周年記念事業の一つであります「永年勤続優良従業員表彰」には是非多くの方達をご推薦下さる様お待ちいたしております。